

報道関係各位

2015年9月11日

大東建託オリジナル！
 ディーケー パイル
柱状地盤補強『DK-Pile』が特許を取得しました

大東建託株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：熊切直美）は、積極的な工法開発から誕生したオリジナルの柱状地盤補強工法『DK-Pile』^{ディーケーパイル}（以下、当工法）の特許を取得しましたのでお知らせします。（摩擦タイプ：特許第 5777166 号、支持タイプ：特許第 5777167 号）

■幅広い地盤に対応可能

当社が開発したオリジナルの柱状地盤補強『DK-Pile』とは、軟弱地盤にも適合している地盤補強です。オリジナルに開発した掘削刃を取り付けたケーシング（鋼管）を地盤に回転・圧入後、現場にてコンクリートを打設して築造する補強体のことです。

コンクリートと地盤（土）を混同して作られる一般的な柱状地盤改良と比べ、当工法はコンクリートと地盤（土）を攪拌混合させないため、土質に左右されることなく品質を確保することができます。主に 3 階建て以下の木造の物件を中心に適用する工法です。



▲DK-Pile（支持タイプ）



▲当社オリジナル開発の掘削刃



▲DK-Pile（摩擦タイプ）

■『DK-Pile』の特色

■安定した品質

- ・コンクリートと土を混ぜ合わせる柱状地盤改良と比べて、大東建託の『DK-Pile』は土と混合させません。そのため、セメントが固化しにくい土質などの影響を受けないため、高品質で確実な施工を提供します。
- ・様々な地盤（砂質地盤・粘土質地盤・ローム地盤・腐植土地盤）に適合している柱状地盤補強です。

■環境にも近隣にもやさしい

- ・『DK-Pile』は圧入しながら掘削施工するため産廃となる残土排出がほとんどありません。
- ・圧入による側面への土圧は鋼管杭と同じ程度であり、周辺の建物への悪影響は最小限です。
- ・セメントを混合しないため施工時に粉じんが舞うことはありません。
- ・低騒音・低振動の工法です。

安定した品質

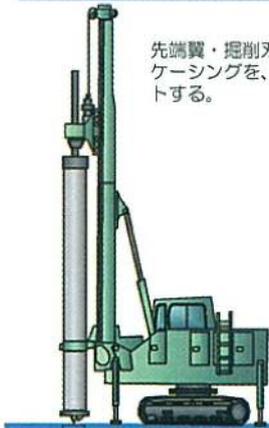
環境・近隣に
やさしい

（次のページに続く）

■ 施工手順

1 ケーシングセット

先端翼・掘削刃を取り付けた
ケーシングを、補強体芯位置にセッ
トする。



2 ケーシング回転貫入

ケーシングの鉛直性を
確認後、ケーシングを
回転・貫入させながら、
所定深度まで埋設する。



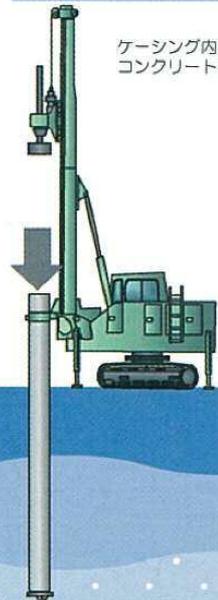
3 オーガ切離し

オーガからケーシングを
切り離す。



4 軸部材料打設

ケーシング内に、
コンクリートを打設する。



5 オーガ接続

オーガを再度
ケーシングに接続する。



6 ケーシング引抜き⇒構造完了

ケーシングを引き抜き後、
コンクリート天端深度を
確認・調整して完了する。



＜この件に関するお問い合わせ＞
大東建託株式会社・経営企画室
和賀・山口
TEL (03)6718-9174